

# 病害虫 防除だより

No. 338

令和2年9月11日

## ハスモンヨトウの多発生に注意!!

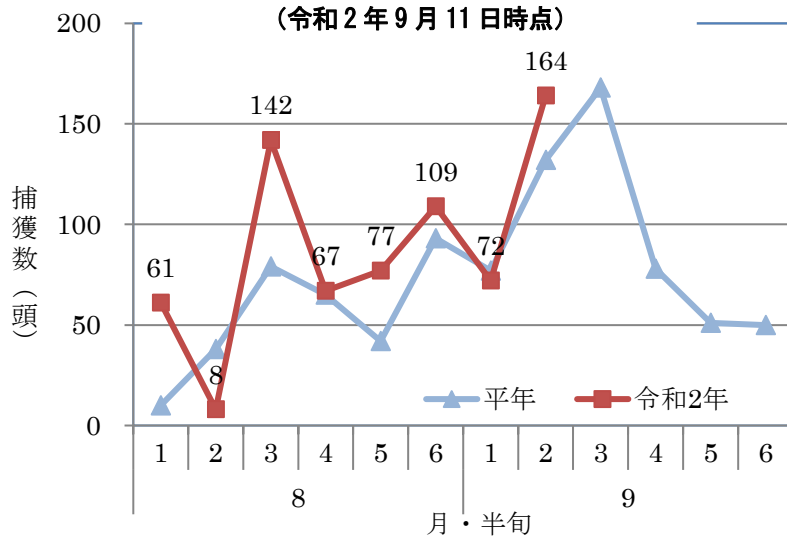
ハスモンヨトウは西南暖地から飛来する害虫で、幼虫が多くの農作物を集団で加害し、大きな被害をもたらします。今後、幼虫による被害が多発する恐れがありますので、防除を徹底しましょう。

### 1. 発生状況

農業試験場のフェロモントラップにおける成虫捕獲数は、9月から増加しており、今後、さらに多くなる恐れがあります。又、台風や前線の通過で、飛来量が増加する可能性があります。このことから、幼虫による加害は9月下旬にかけて多くなると予想されます。

フェロモントラップにおける捕獲状況

(令和2年9月11日時点)



<http://www.pref.fukui.jp/doc/noushi/kankyo/hasumon.html>

ハスモンヨトウ成虫(上)と幼虫(下)

### 2. 防除対策

- 注意が必要な作物：ダイズ、ソバ、キャベツ、ブロッコリー、ネギ、サトイモ
- 圃場をよく見て回り、卵塊や若齢幼虫の群生を見つけたら、葉ごと取り除き捕殺する。
- 中齢～老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、若齢幼虫のうちに防除する。
- 育苗期や定植直後は被害が大きくなるため発生初期の防除に努める。
- 対象作物によって登録薬剤が異なるため、薬剤の選定にあたっては令和2年度農作物病害虫防除指針を参照する。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい

農業試験場 病害虫防除室

連絡先 0776(54)5100(代)

農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう